

「情報公開文書」

単施設研究用

**研究課題名：**当科（腫瘍内科）に紹介された、術不能または進行再発悪性腫瘍で治癒を期待できない患者において緩和的抗がん剤治療を望むか、Best Supportive Care のみを望むかがその後の経過に及ぼす影響についての検討

## 1. 研究の対象

2013年5月1日から2014年5月31日までに腫瘍内科に紹介された手術不能または進行再発悪性腫瘍で治癒を期待できない患者

## 2. 研究目的・方法

この研究の目的は治癒を期待できない悪性腫瘍患者が最初から Best Supportive Care を希望した場合、緩和的抗がん剤治療を行なった場合と比較して、その後の経過でどのような相違が出るかを調査し、最初から Best Supportive Care という選択肢の可能性を検討することである。

2013年5月1日から2014年5月31日までに当科に紹介された手術不能または進行再発悪性腫瘍で治癒を期待できない患者132名を対象とした。疾患ごとに治療ガイドラインに則り、緩和的抗がん剤治療の目的とその効果 および副作用について十分に説明し、緩和的抗がん剤治療か Best Supportive Care のみを希望するか患者の意向を聞き、それに沿って治療を開始した。全ての患者に対して疾患・年齢・性別・Performance Status、経過観察中に永眠された患者の場合は全生存期間と全入院期間のデータを収集した。最終データ集積は2017年3月で終了し、現在解析中である。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究のために集積した患者情報

- 1) 緩和的抗がん剤治療を希望するか、Best Supportive Care のみを希望するか
- 2) 疾患・年齢・性別・Performance Status
- 3) 全生存期間
- 4) 全入院期間

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

## 資料 1

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 村尾知彦  
〒981 - 1101 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1  
TEL 022-384-3151（代表）（内線 973）

研究責任者：

宮城県立がんセンター 腫瘍内科 村川 康子